

こどもたちの心のケアについて
＜令和7年度（2025年度）第2回カウンセリングが必要な児童生徒 学校調査結果＞

1 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の児童生徒の健康観察などを通して、学校がカウンセリングを必要と判断した児童生徒の数を集計した。

2 調査期間 令和7年（2025年）10月10日（金）～11月4日（火）

3 対象者 市立小中学校の全児童生徒 59,205人

4 調査の結果

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数

3,015人（全体の約 5.09%）

		令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因		7/28	10/28	1/29	6/30	11/2	2/18	6/23	11/8	2/20
	熊本地震	249	205	171	108	90	74	50	38	38
	新型コロナ	557	304	266	115	112	131	169	108	85
	その他		1,086	1,285	1,671	1,853	1,994	2,177	2,370	2,572
	合計		1,595	1,722	1,864	2,055	1,876	2,396	2,516	2,695

		令和5年度			令和6年度			令和7年度		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因		6/21	11/7	2/7	6/24	11/8	2/18	6/30	11/4	
	熊本地震	28	29	29	21	18	11			
	新型コロナ	31	30	19	9	8	5			
	その他	2,393	2,708	2,655	2,814	3,175	3,138			
	合計	2,452	2,767	2,703	2,844	3,201	3,154	2,857	3,015	

【学年別】

学年（人）	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学校	中1	中2	中3	中学校
必要数(人)	189	223	297	304	330	273	1,616	456	487	456	1,399

【主な要因】複数回答可

①不登校に関すること	703
②生活習慣のこと (朝起きるのがつらい 睡眠時間が減った ゲームやインターネットの使用時間の増加など)	335
③友人との関係に関すること	705
④教職員との関係に関すること	57
⑤家庭生活のこと (⑥以外、保護者や兄弟姉妹との関係等)	567
⑥児童虐待、ヤングケアラーに関すること	62
⑦貧困に関すること	21
⑧学習、進路に関すること	398
⑨児童生徒自身のこと (発達に関すること、心身の健康に関すること)	1754
⑩非行・不良行為・暴力行為に関すること	53
⑪性に関すること (性的マイノリティなども含む)	27
⑫熊本地震の影響を受けた	4
⑬新型コロナウイルス感染症のこと (感染の恐れや不安など)	1
⑭その他	34